

## 月刊 水試ニュース

発行所: 愛知県水産試験場(本場)

594号

令和8(2026)年1月

## 「試験研究基本計画 2030」を策定しました!

企画情報部 企画普及グループ

愛知県では、農林水産試験研究の今後を見据えた「愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2030」を令和 7 年 12 月に策定しました。この計画は、今後 5 年間（2026～2030 年度）にわたる試験研究の方向性を示すものです。水産試験場では、3 つの柱と重点研究テーマ「貧栄養化をはじめとした漁場環境の変化に対応する技術の開発」を掲げ、効率的に研究を進め、成果をいち早く生産現場へ提示します。今後も本県水産業の発展に向け、挑戦を続けます！

## &lt;試験研究体系&gt;

## 柱 1

## 漁業生産を支える健全な漁場環境の実現

貧栄養化や貧酸素水塊、有害・有毒プランクトンについて観測・調査を行い、これらによる漁業被害の対策技術を開発する。

## 柱 2

## 気候変動に対応した漁業生産技術の向上

水産資源の解析技術や効率的な操業技術、ノリやアサリ等の増養殖技術、藻場回復技術を開発する。

## 柱 3

## 効率性の高い内水面増養殖技術の推進

河川の生産力に応じた漁場利用技術及び経済性の高い放流技術を開発・実用化、効率的な養殖技術を開発する。

## &lt;愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2030&gt;

計画の全体概要及び本文は、右の二次元バーコードからご覧いただけます。



## 黄銅ファイバー浸漬用水によるミズカビ着生率減少

内水面漁業研究所 冷水魚養殖グループ



図 1 黄銅ファイバー

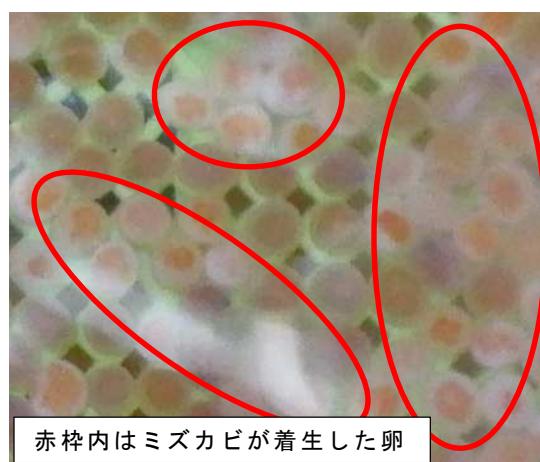


図 2 ミズカビ着生状況

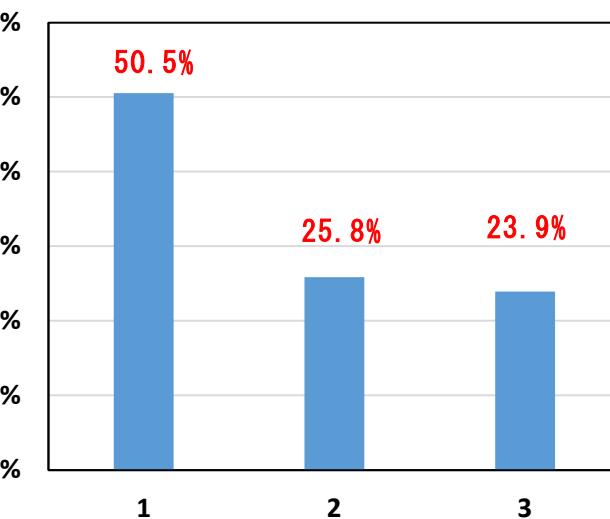


図 3 ミズカビ着生率